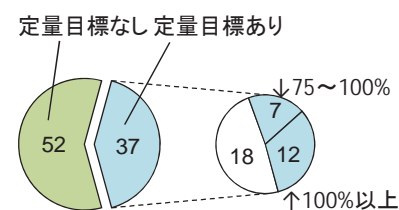


## 生物多様性横浜行動計画(ヨコハマプラン)の短期的な目標(2017年度まで)の取組状況一覧

	定量目標あり				定量目標なし				計
	100%以上	75%以上 100%未満	75%未満	小計	実施済、 実施中	実施の上 完了	未実施	小計	
<b>■方針1～普及啓発～</b>	4	2	9	15	19	0	0	19	34
(1) 人づくりと場づくりの推進	4	1	9	14	13			13	27
(2) 様々な主体や組織間の連携による施策の展開				0	5			5	5
(3) 外来種に関する普及啓発				0	1			1	1
(4) 動物園等での環境教育		1		1				0	1
<b>■方針2～保全・再生・創造～</b>	8	5	8	21	17	0	0	17	38
(1) 保全を中心とした取組	6	1	4	11	7			7	18
(2) 再生を中心とした取組	1	1	3	5	7			7	12
(3) 創造を中心とした取組	1	3	1	5	3			3	8
<b>■方針3～しくみづくり～</b>	0	0	0	0	5	0	0	5	5
(1) 生物調査データの継続的な蓄積と活用				0	3			3	3
(2) 地域特性に応じた保全等の検討				0	1			1	1
(3) 市役所による生物多様性の取組の推進				0	1			1	1
<b>■方針4～まちづくりと経済活動～</b>	0	0	1	1	11	0	0	11	12
(1) 生物多様性に貢献するまちづくりの推進				0	8			8	8
(2) 企業による社会参加の拡大と生物多様性に貢献する経済活動の支援			1	1	3			3	4
合計	12	7	18	37	52	0	0	52	89

定量目標あり			定量目標なし			計
100%以上	75%以上 100%未満	75%未満	実施済、 実施中	実施の上 完了	未実施	
12	7	18	52	0	0	89
13%	8%	20%	58%	0%	0%	100%

達成・おおむね 達成している ものの割合
71
80%



現計画に掲げた37項目の定量目標のうち、19項目が達成、おおむね達成されている。また、52項目の定量目標がない取組は、全て実施済みまたは実施中である。

よって、全体としては、89項目の目標のうち、71項目(80%)が達成、おおむね達成されているといえる。

# 生物多様性横浜行動計画（ヨコハマプラン） 3か年の取組実績一覧表

【目標】は2017（H29）年度末または2014～2017（H26～H29）年度の4か年の目標値を記載

## ■方針1 ～普及啓発～

### (1) 人づくりと場づくりの推進

#### ① 普及啓発

頁番号	取組名	目標	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
			2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)		
1	身近な自然環境の広報	推進	・イベントや市のWebサイトを活用し、市民の森、公園、水辺拠点、農地等の魅力をPR ・公共交通機関と連携した横浜つなごりの森のPRの実施 ・「知ろう！伝えよう！生きものつなごり」キャンペーン2014の開催（5～6月）	・イベントや市のWebサイトを活用し、市民の森、公園、水辺拠点、農地等の魅力をPR ・「知ろう！伝えよう！生きものつなごり」キャンペーン2015の開催（5～6月）	・イベントや市のWebサイトを活用し、市民の森、公園、水辺拠点、農地等の魅力をPR ・「知ろう！伝えよう！生きものつなごり」キャンペーン2016の開催（5～6月）	推進	推進
2	環境行動の実践に向けた広報・啓発 【重点アピール1】	推進	知ろう！伝えよう！生きものつなごり キャンペーン2014の開催（5～6月）	知ろう！伝えよう！生きものつなごり キャンペーン2015の開催（5～6月）	知ろう！伝えよう！生きものつなごり キャンペーン2016の開催（5～6月）	推進	推進
3	生物多様性に配慮した消費行動の啓発 【重点アピール1】	推進	環境教育出前講座「生物多様性でYES!」や、イベントの場を活用し、地産地消を含む生物多様性に配慮した消費行動を推進	環境教育出前講座「生物多様性でYES!」や、イベントの場を活用し、地産地消を含む生物多様性に配慮した消費行動を推進	環境教育出前講座「生物多様性でYES!」や、イベントの場を活用し、地産地消を含む生物多様性に配慮した消費行動を推進	推進	推進
4	「横浜つなごりの森」におけるエコツアー 【重点アピール3】	推進	・自然観察センターやウエルカムセンター等の各主要施設において、横浜つなごりの森散策マップ及び紹介パネルによりPRを実施 ・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナーを検討	・自然観察センターやウエルカムセンター等の各主要施設において、横浜つなごりの森散策マップ及び紹介パネルによりPRを実施 ・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナーの検討、関係団体説明会の開催	・自然観察センターやウエルカムセンター等の各主要施設において、横浜つなごりの森散策マップ及び紹介パネルによりPRを実施 ・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナーを検討	推進	推進
5	体験フィールドの活性化 ～横浜の森プロモーション～ 【重点アピール3】	推進	・横浜つなごりの森のイベント紹介チラシの作成・配布 ・区民祭りで横浜つなごりの森をPR ・公共交通機関と連携した広報や、地域情報紙等を活用した広報を展開	・区民祭りや金沢動物園春まつりで横浜つなごりの森をPR ・地域情報紙等を活用した広報を展開	・区民祭りや金沢動物園春まつりで横浜つなごりの森をPR	推進	推進
6	森の楽しみづくり	イベント実施及び広報活動 144回	イベント等の実施 107回	イベント等の実施 132回	イベント等の実施 106回	イベント等の実施 345回	240%
7	森に関する情報発信	・新規に指定された市民の森等のガイドマップ作成 ・ウエルカムセンターの運営推進	・市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ作成 3地域 ・ウエルカムセンター運営 推進	・市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ作成 2地域 ・ウエルカムセンター運営 推進	・市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ作成 2地域 ・ウエルカムセンター運営 推進	・市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ作成 7地域 ・ウエルカムセンター運営 推進	推進
8	市民の守りたい、伝えたい谷戸環境の広報 【重点アピール1】	推進	・民間企業主催の里山・里海イベントで、谷戸環境などについてPR ・市内の谷戸環境をPRするためのWebページを開設	市のWebサイトで市内の谷戸環境のPRを実施	市のWebサイトで市内の谷戸環境のPRを実施	市のWebサイトで市内の谷戸環境のPRを実施	推進

頁番号	取組名	目標	実績			3か年の進捗状況
			2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	
9	庁内機断による谷戸環境の積極的活用 [重点アピール1]	推進	・貴重な谷戸環境をイベント等を通じてPR ・谷戸環境の活用に役立つツールとして、Webページを開設	市のWebサイトで市内の谷戸環境のPRを実施	市のWebサイトで市内の谷戸環境のPRを実施	推進
<b>②人材育成</b>						
10	生物多様性でYES! [重点アピール1]	参加者数 10,500人/年	小中学校や放課後児童育成施設等に受講団体を募集 プログラム数 40、 受講者数 8,180人	小中学校や放課後児童育成施設等に受講団体を募集 プログラム数 46、 受講者数 8,895人	小中学校や放課後児童育成施設等に受講団体を募集 プログラム数 50、 受講者数 7,552人	59%
11	環境教育に携わる指導者への支援 [重点アピール1]	推進	講師を対象としたスキルアップ研修の実施 1回	講師を対象としたスキルアップ研修の実施 1回	講師を対象としたスキルアップ研修の実施 3回	推進
12	環境教育に先進的に取り組む学校への支援	推進	・12校を環境教育実践推進校として指定 ・環境教育研究会や子どもエコフォーラム等で取組を発信 (H17～H26の累計56校)	・4校を環境教育実践推進校として指定 ・「地域の自然」校内環境「都市部の取組」「海」などのテーマに沿った実践を展開し、子どもエコフォーラム等で取組を発信 (H17～H27の累計60校)	・4校を環境教育実践推進校として指定 ・「地域の自然」校内環境「都市部の取組」「海」などのテーマに沿った実践を展開し、子どもエコフォーラム等で取組を発信 (H17～H28の累計64校)	推進
13	森づくりを担う人材の育成	推進	・森づくり活動団体向けの研修の実施 16回 ・森づくり活動団体や森づくりボランティアによる検討会議を開催 ・「よこはまの森ニュースレター」の発行 4回	・森づくり活動団体向けの研修の実施 14回 ・森づくり活動団体と森づくりボランティアが一緒に学ぶ研修会を開催 ・「よこはまの森ニュースレター」の発行 4回	・森づくり活動団体向けの研修の実施 41回 ・「よこはまの森ニュースレター」の発行 12回	推進
<b>③団体の支援</b>						
14	活動団体への支援 [重点アピール1]	推進	・環境保全活動団体助成金を交付 5団体 ・横浜環境活動賞受賞者を審査の上 決定 10者	・環境保全活動団体助成金を交付 1団体 ・横浜環境活動賞受賞者を審査の上 決定 17者	・環境保全活動団体助成金を交付 2団体 ・横浜環境活動賞受賞者を審査の上 決定 12者	推進
15	森づくり活動団体への支援	・活動団体への支援 (市民の森等) 延べ40団体 ・活動団体への支援 (公園) 延べ40団体	・森づくり活動団体への支援 22団体 ・公園内のまとまった樹林で活動する森づくり活動団体への支援 9団体	・森づくり活動団体への支援 23団体 ・公園内のまとまった樹林で活動する森づくり活動団体への支援 9団体	・森づくり活動団体への支援 34団体 ・公園内のまとまった樹林で活動する森づくり活動団体への支援 10団体	・活動団体への支援 (市民の森等) 198% ・活動団体への支援 (公園) 70%
<b>④場づくり</b>						
16	魅力ある公園の新設・再整備	新設・再整備公園数 延べ320か所	新設・再整備公園数 57か所	新設・再整備公園数 74か所	新設・再整備公園数 58か所	59%

頁番号	取組名	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
		2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)		
17	地産地消にふれる機会の拡大	・直売所等の支援 42件 ・青空市運営支援 20件	・直売所等の支援 11件 ・青空市運営支援 5件	・直売所等の支援 10件 ・青空市運営支援 5件	・直売所等の支援 25件 ・青空市運営支援 14件	・直売所等の支援 60% ・青空市運営支援 70%
18	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	・市民農園の開設 4.8ha ・収穫体験農園の開設 10.0ha ・農園付公園の整備 6.7ha	・市民農園の開設 2.2ha ・収穫体験農園の開設 1.0ha ・農園付公園の整備 1.4ha	・市民農園の開設 2.1ha ・収穫体験農園の開設 2.5ha ・農園付公園の整備 1.0ha	・市民農園の開設 7.1ha ・収穫体験農園の開設 5.0ha ・農園付公園の整備 3.8ha	・市民農園の開設 148% ・収穫体験農園の開設 50% ・農園付公園の整備 57%
19	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	・横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施 400回 ・農ある横浜・あぐりツアーの開催 16回 ・農のある地域づくり協定の締結 3件 ・農体験講座の開催 20回	・横浜ふるさと村、恵みの里での体験教室の実施 89回 ・農ある横浜・あぐりツアーの開催 3回 ・農のある地域づくり協定の締結 2件 ・家族で学ぶ農体験講座の開催 5回	・横浜ふるさと村、恵みの里での体験教室の実施 87回 ・農ある横浜・あぐりツアーの開催 4回 ・農のある地域づくり協定の新規締結 1件 ・家族で学ぶ農体験講座の開催 5回	・横浜ふるさと村、恵みの里での体験教室の実施 270回 ・農ある横浜・あぐりツアーの開催 10回 ・農のある地域づくり協定の新規締結 3件 ・家族で学ぶ農体験講座の開催 15回	・農体験教室などの実施 68% ・農ある横浜・あぐりツアーの開催 63% ・農のある地域づくり協定の締結 100% ・農体験講座の開催 75%
<b>(2)様々な主体や組織間の連携による施策の展開</b>						
20	多岐にわたる分野とのコラボレーションの推進 [重点アピール1]	・民間企業の里山イベントに出展し、横浜の里山環境について紹介 ・スポーツチームと協力し、環境活動に関する普及啓発の実施(5月～9月) ・他分野が行うイベント等に後援等の実施	・スポーツチームと協力し、環境活動に関する普及啓発の実施(5月～9月) ・他分野が行うイベント等への後援等の実施	・スポーツチームと協力し、環境活動に関する普及啓発の実施(6月～9月) ・他分野が行うイベント等への後援等の実施	推進	推進
21	連携・交流のプラットフォームづくり [重点アピール1]	市の業務研究・改善事例発表会において、生物多様性に関する取組を発表・周知	市の業務研究・改善事例発表会において、生物多様性に関する取組を発表・周知	市の業務研究・改善事例発表会において、生物多様性に関する取組を発表・周知	推進	推進
22	森を支えている活動団体のつながりの強化 [重点アピール3]	・森づくり活動団体による検討会議の開催等を通じてつながりの構築を推進 ・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナーを検討	・森づくり活動団体による検討会議の開催 ・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナーの検討、関係団体説明会の開催	ハイキングコース利用にあたってのルール・マナーを検討	推進	推進
23	「横浜つながりの森」の調整機能の充実・体制の強化を推進 [重点アピール3]	・横浜つながりの森イベント紹介チラシの作成・配布による情報共有の推進 ・つながりの森関係区局による情報共有会議を開催	Webサイトへの各施設の情報掲載による情報の一元化	Webサイトへの各施設の情報掲載による情報の一元化	推進	推進
24	自然体験活動の推進	・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムの実施 1,524人 ・社会資源等を活用した自然・社会体験プログラムの実施 179人	・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムの実施 893人 ・自然・社会資源等を活用した体験プログラムの実施 877人	・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムの実施 830人 ・自然・社会資源等を活用した体験プログラムの実施 830人	・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムの実施 延べ3,247人 ・自然・社会資源等を活用した体験プログラムの実施 延べ1,056人	推進

頁番号	取組名	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
		2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)		
<b>(3)外来種に関する普及啓発</b>						
25	外来種に関する普及啓発	推進	・市主催のイベントで剥製やパネルの展示、リーフレットの配布、ワークショップ等により普及啓発を実施 ・市職員研修で外来生物に関する啓発を実施	・市主催のイベントで剥製やパネルの展示、リーフレットの配布、ワークショップ等及び、Webサイトへの掲載により普及啓発を実施 ・市職員研修で外来生物に関する啓発を実施	推進	推進
<b>(4)動物園等での環境教育</b>						
26	動物園等における環境教育	環境教育事業数 330件/年	・動物園での環境教育事業 349件 ・繁殖センターへの一般施設見学 6件 ・大学・教育機関等との連携事業 14件 ・繁殖センターで実施した科学スクール 3件、講演会 3件	・動物園での環境教育事業 387件 ・繁殖センターへの一般施設見学 6件 ・大学・教育機関等との連携事業 13件 ・繁殖センターで実施した科学スクール 3件、講演会 3件	88%	・動物園で環境教育事業 1,088件 ・繁殖センターへの一般施設見学 16件 ・大学・教育機関等との連携事業 40件 ・繁殖センターで実施した科学スクール 9件、講演会 10件
<b>■方針2 ～保全・再生・創造～</b>						
<b>(1)保全を中心とした取組</b>						
①緑や農地の保全と維持管理						
27	水田の保全	・水田の保全承認 123ha ・水源の確保 8か所	・水田の保全承認 119.7ha ・水源の確保 1か所	・水田の保全承認 120.8ha ・水源の確保 2か所	・水田の保全承認 120.8ha ・水源の確保 4か所	・水田の保全承認 98% ・水源の確保 50%
28	農景観を良好に維持する取組の支援	・良好に維持されている農地の面積 680ha ※2014～2018年度まで ・水路機能の維持 4地区 ・土砂流出対策 4か所/年	・良好に維持されている農地の面積 718ha ・水路機能の維持 2地区 ・土砂流出対策 10か所	・良好に維持されている農地の面積 723ha ・水路機能の維持 3地区 ・土砂流出対策 6か所	・良好に維持されている農地の面積 723ha ・水路機能の維持 6地区 ・土砂流出対策 26か所	・良好に維持されている農地の面積 106% ・水路機能の維持 150% ・土砂流出対策 163%
29	瀬上池の生物多様性を守る ～瀬上池の未来づくり～ [重点アピール3]	推進	・「瀬上市民の森保全改善整備工事」のための測量・調査業務等の実施 ・瀬上市民の森環境改善事業について、瀬上市民の森保全協議会の開催	・瀬上市民の森保全管理計画（瀬上池集水域）の策定 ・瀬上池でかいぼりを実施し外来種を駆除 ・瀬上池の環境改善整備工事を実施し、浚渫や沈砂池を整備	・保全管理計画に基づくアピールが二の試験的な定量調査及び駆除 ・瀬上市民の森環境調査・検討	推進
30	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	緑地保全制度による指定 400ha	・緑地保全制度による指定の拡大 101.7ha ・緑地保全制度による買取り 18.2ha	・緑地保全制度による指定の拡大 102.5ha ・緑地保全制度による買取り 24.1ha	・緑地保全制度による指定の拡大 266.6ha ・緑地保全制度による買取り 67.0ha	67%
31	森づくりガイドライン等を活用した森の育成	・ガイドライン等を活用した維持管理 推進 ・保全管理計画策定 樹林地12か所、公園8か所	・森づくりガイドライン等を活用した維持管理 樹林地109か所、公園11か所 ・保全管理計画の策定 樹林地3か所、公園5か所	・森づくりガイドライン等を活用した維持管理 樹林地131か所、公園18か所 ・保全管理計画の策定 樹林地2か所、公園4か所	・森づくりガイドライン等を活用した維持管理 樹林地延べ361か所、公園延べ43か所 ・保全管理計画の策定 樹林地8か所、公園12か所	・ガイドライン等を活用した維持管理 推進 ・保全管理計画策定 樹林地67%、公園150%



頁番号	取組名	目標	実績			3か年の進捗状況	
			2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)		
32	生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	法面の整備 8か所	法面の整備 施工中1か所	法面の整備 整備3か所	法面の整備 整備5か所	法面の整備 整備8か所 100%	
<b>②希少野生動物の保護・繁殖</b>							
33	国際的な希少動物の保全の取組と国際貢献	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>繁殖センターからインドネシアへ専門家2名を派遣し技術指導を実施、研修生受入4名</li> <li>東南アジア動物園協会総会（台湾開催）で講演（10月）</li> <li>市民向けシンポジウムを横浜で開催（1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カムリシロムク保護事業において、インドネシア共和国と共同事業を実施</li> <li>世界動物園水族館協会総会において、インドネシア関係者からカムリシロムク保護事業の講演発表（10月）</li> <li>繁殖センターからインドネシアへカムリシロムク20羽を送致（3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニューカレドニア希少動物研究交流事業において、第12回カグー円卓会議を実施（11月）</li> <li>ニューカレドニア南部州政府と、野生動物に関する改正合意書を締結</li> <li>カムリシロムク保護事業において、インドネシア共和国と共同事業を実施</li> </ul>	推進	
34	横浜市及び国内に生息する希少動物の保全の取組	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内産カエル2種を導入し飼育繁殖技術の研究を開始</li> <li>ニホンライチョウ飼育繁殖技術確立のため、近縁種スバルライチョウ9羽の繁殖に成功</li> <li>国内産希少種であるミソゴイの飼育繁殖技術の研究のため雌1羽を導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内産カエル2種を導入し飼育繁殖技術の研究</li> <li>ニホンライチョウの保全のため、近縁種スバルライチョウ飼育繁殖技術の確立のための共同研究、生息地での調査実施</li> <li>国内産希少種であるミソゴイの繁殖成功 2羽（日本初）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内産カエル2種を導入し飼育繁殖技術の研究</li> <li>ニホンライチョウの保全のため、近縁種スバルライチョウ飼育繁殖技術の確立のための共同研究実施</li> </ul>	推進	
35	希少動物の保全に関する研究の推進	繁殖センターが行う研究件数 40件	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立環境研究所・日本動物園水族館協会・大学等と共同研究を実施 12件</li> <li>市立3動物園との共同研究 26件</li> <li>市立3動物園飼育動物のDNA解析による雌雄判別を実施 鳥類7種35個体</li> <li>外部口頭・ポスター発表により研究成果を情報発信 6件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立環境研究所・日本動物園水族館協会・大学等と共同研究を実施 8件</li> <li>市立3動物園との共同研究 25件</li> <li>市立3動物園飼育動物のDNA解析による雌雄判別を実施 鳥類15種59個体</li> <li>外部口頭・ポスター発表により研究成果を情報発信 6件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立環境研究所・日本動物園水族館協会・大学等と共同研究を実施 9件</li> <li>市立3動物園との共同研究 22件</li> <li>市立3動物園飼育動物のDNA解析による雌雄判別を実施 鳥類12種95個体</li> <li>外部口頭・ポスター発表による研究成果を情報発信 7件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立環境研究所・日本動物園水族館協会・大学等と共同研究を実施 15件</li> <li>市立3動物園との共同研究 35件</li> <li>市立3動物園飼育動物のDNA解析による雌雄判別を実施 鳥類34種189個体</li> <li>外部口頭・ポスター発表による研究成果の情報発信 19件</li> </ul>	125%
36	身近な動物・傷病鳥獣に関する啓発の推進	講座回数 20回	<ul style="list-style-type: none"> <li>来園者を対象とした「工口森教室」の開催 4回</li> <li>野生傷病鳥獣保護事業の専門家の講演と動物病院の見学をセットにした講座を開催 1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来園者を対象とした「工口森教室」の開催 3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来園者を対象とした「工口森教室」の開催 10回</li> <li>野生傷病鳥獣保護事業の専門家の講演と動物病院の見学をセットにした講座を開催 1回</li> </ul>	55%	
37	横浜に生息する生き物体験施設の整備 【重点ア・ビル3】	推進	「日本の森」ゾーンの基本設計を実施	「日本の森」ゾーンの施設設計のための測量を実施	「日本の森」ゾーンの施設内容の検討・調整	推進	

頁番号	取組名	目標	実績			3か年の進捗状況
			2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	
38	指定・登録文化財の保護育成	推進	・国指定天然記念物ミヤコナゴ保護増殖事業及び生息環境調査事業の実施 ・ゲンジボタル生息地の環境整備の実施	・国指定天然記念物ミヤコナゴ保護増殖事業及び生息環境調査事業の実施 ・ゲンジボタル生息地の環境整備の実施	・国指定天然記念物ミヤコナゴ保護増殖事業及び生息環境調査事業の実施 ・ゲンジボタル生息地の環境整備の実施	推進
<b>③外来種への対策</b>						
39	アライグマ・タイワンリスによる被害への対策	推進	・アライグマ捕獲数 415頭 ・タイワンリス捕獲数 191頭 ・捕獲檻の補充 アライグマ用15台、 タイワンリス用20台	・アライグマ捕獲数 285頭 ・タイワンリス捕獲数 170頭 ・捕獲檻の補充 アライグマ用17台	・アライグマ捕獲数 446頭 ・タイワンリス捕獲数 380頭 ・捕獲檻の補充 アライグマ用17台 タイワンリス用20台	推進
<b>(2) 再生を中心とした取組</b>						
40	生物多様性に配慮した公園整備	推進	公園緑地の整備に際し、現場条件に合わせ鳥類や昆虫などに配慮した樹種を選定・植栽	新設・再整備公園整備において、湧水や池の生物多様性に配慮した設計・整備を実施	新設公園整備において、池の景観や生物多様性保全のため、湧水の導入整備を実施	推進
41	公園における順応的管理的推進	推進	森づくりガイドラインを活用した樹林地や公園の維持管理を実施し、生物多様性多様性の保全・向上	森づくりガイドラインを活用した樹林地や公園の維持管理を実施し、生物多様性多様性の保全・向上	既設公園において、新たなホタル生育地を創出	推進
42	旧小栗貯油施設跡地の公園活用 [重点アピール3]	工事着手	基本計画を策定し、これを踏まえて環境影響評価手続に着手	公園の基本設計を進めるとともに、環境影響評価手続として自然環境調査を実施	公園整備に向けた実施設計を進めるとともに、説明会の開催など都市計画及び環境影響評価手続を推進	推進
43	生物多様性に配慮した河川・雨水調整池の管理	実施	関係区局による雨水調整池ビオトープ維持管理プロジェクトにより、雨水調整池ビオトープ維持管理の研修会の開催 ・雨水調整池ビオトープ担当者会議を開催	関係区局による雨水調整池ビオトープ維持管理プロジェクトを継続 ・雨水調整池ビオトープ維持管理の研修会の開催 ・雨水調整池ビオトープ担当者会議の開催 ・近隣の小学生を対象とした生き物観察会の実施 ・維持管理事例集の作成	関係区局による雨水調整池ビオトープ維持管理プロジェクトを継続 ・雨水調整池ビオトープ維持管理の研修会の開催 ・雨水調整池ビオトープ担当者会議の開催 ・近隣の小学生、教師等を対象とした生き物観察会の実施	推進
44	水辺拠点の整備	水辺拠点の整備 3 か所	水辺拠点の整備 1 か所	水辺拠点の整備 1 か所	市民の活動拠点としてより良い空間となるよう、水辺拠点を改良を実施	67%
45	多自然川づくり	推進	水際の植生を考慮した低水路の整備	多自然型落差工の整備	魚道の整備	推進
46	多様な生き物を育む場づくり (アコが遡上する川づくり) [重点アピール4]	帷子川モデルプランの策定	・生物多様性に配慮した川づくりの推進の仕組み等について基本方針(案)を策定 ・帷子川をモデルにアクションプラン(案)を策定 ・アコの遡上状況及び魚類等の生息状況調査の実施	・「アコが遡上する帷子川アクションプラン」の策定 ・アコの遡上及び流況分布状況調査の実施	「はまっこアコ遡上プロジェクト」ワーキング グ 3 回	帷子川モデルプランを策定し、取組を推進

頁番号	取組名	目標	実績			3か年累計実績	3か年の進捗状況
			2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)		
47	宅地等における雨水浸透、貯留の推進	・雨水貯留タンク設置への助成 300個/年 ・宅内雨水浸透ます設置への助成 50個/年	・雨水貯留タンク設置への助成 280個 ・宅内雨水浸透ます設置への助成 9個	・雨水貯留タンク設置への助成 205個 ・宅内雨水浸透ます設置への助成 19個	・雨水貯留タンク設置への助成 711個 ・宅内雨水浸透ます設置への助成 28個	・雨水貯留タンク設置への助成 59% ・宅内雨水浸透ます設置への助成 14%	
48	公園愛護会・水辺愛護会との連携	・公園愛護会の活動支援 2,457団体 ・水辺愛護会の活動距離 60,198m	・公園愛護会の活動支援 2,432団体 ・水辺愛護会の活動距離 59,068m (93団体)、交流会の開催	・公園愛護会の活動支援 2,450団体 ・水辺愛護会の活動距離 59,418m (94団体)、交流会の開催、特別表彰及び永年表彰の実施	・公園愛護会の活動支援 2,466団体 ・水辺愛護会の活動距離 59,418m (94団体)	・公園愛護会の活動支援 100% ・水辺愛護会の活動距離 99%	
49	街路樹における樹種の配慮等	高木 130,000本	実施 高木130,000本	実施 高木130,000本	実施 高木130,000本	推進	
<b>(3) 創造を中心とした取組</b>							
50	地域緑のまちづくり	46地区で推進 ※2014～2018年度まで	6地区と新たに協定を締結し、計22地区で緑化活動に助成等の支援を実施	4地区の団体と新たに協定を締結し、計26地区で緑化整備や地域緑化活動に助成	9地区の団体と新たに協定を締結し、計29地区で緑化整備や地域緑化活動に助成	76%	
51	都心臨海部の緑花による賑わいづくり	推進	・みなとみらい21地区から山下公園を中心とした6か所で、緑花による魅力・賑わいづくりを推進 ・山下公園、グランモール公園、新港中央広場において、花壇の良好な管理を推進	・みなとみらい21地区から山下公園を中心とした4か所で、緑のネットワーク形成を推進 ・山下公園、港の見える丘公園、グランモール公園、新港中央広場において、緑や花壇の良好な管理を推進	・みなとみらい21地区から山下地区を中心とした22か所で、緑のネットワーク形成を推進 ・山下公園、港の見える丘公園、グランモール公園、新港中央広場など15か所において、緑や花の良好な管理を推進	推進	
52	民有地における緑化の助成	緑化の助成 65件 ※2014～2018年度まで	・個人宅、集合住宅の屋上緑化への助成 4件 ・地面緑化への助成 1件	・個人宅、集合住宅の屋上緑化への助成 3件 ・地面緑化への助成 2件	・個人宅、集合住宅の屋上・壁面緑化への助成 6件 ・地面緑化への助成 1件	26%	
53	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	・緑の創出 100か所 ※2014～2018年度まで ・芝生等の維持管理の推進	・家庭・園庭の芝生化、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所、施設のニーズに合わせた多様な緑の創出 32か所 ・芝生や植栽の維持管理について、費用の一部支援と合わせ、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施	・家庭・園庭の芝生化、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所、施設のニーズに合わせた多様な緑の創出 36か所 ・芝生や植栽の維持管理について、費用の一部支援と合わせ、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施	・多様な緑の創出 118か所 ・芝生や植栽の維持管理費用の一部支援と合わせ、技術講習会と専門家による訪問指導を実施	118%	



頁番号	取組名	目標	実績			3か年の進捗状況	
			2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)		
54	公共施設・公有地での緑の創出・管理 [重点アピール2]	・緑の創出 58件 ※2014～2018年度まで ・緑の維持管理の推進	・市庁舎や鶴見区、西区、保土ヶ谷区の庁舎など、市民施設等を新たに緑化 16か所 ・各施設において適切な維持管理を実施	・南区や金沢区の庁舎など、市民利用施設等を新たに緑化 22か所 ・各施設において適切な維持管理を実施	・港南区の庁舎など、市民利用施設等を新たに緑化 18か所 ・各施設において適切な維持管理を実施	・市民利用施設等を新たに緑化 56か所 ・各施設において適切な維持管理を実施	97%
55	公有地化によるシンボリックな緑の創出	・緑の創出 5か所 ※2014～2018年度まで	シンボリックな緑の創出予定地を1か所取得	1か所のシンボリックな緑の創出予定地において、既存建物の解体設計を実施	候補地5か所を選定し、うち4か所について用地取得	シンボリックな緑の創出予定地の用地取得 4か所	80%
<b>■方針3 しゅくむづくり</b>							
<b>(1)生物調査データの継続的な蓄積と活用</b>							
56	生物調査データの一元化 (データバンクの構築) [重点アピール2]	データバンクの構築	・環境科学研究所が保有する生物調査データについて一部公開中 ・環境創造局内で保有する生物調査報告書を庁内で共有 ・産学官の連携により生物情報の取得方法や情報解析方法について検討、意見交換	・環境科学研究所が保有する生物調査データを更新、一部公開、依頼内容に応じたデータ提供 ・環境創造局内で保有する生物調査報告書を庁内で共有 ・産学官の連携により生物情報の取得方法や情報解析方法について検討、意見交換	・環境科学研究所が保有する生物調査データを更新、一部公開、依頼内容に応じたデータ提供 ・環境創造局内で保有する生物調査報告書を庁内で共有 ・産学官の連携により生物情報の取得方法や情報解析方法について検討、意見交換	データバンクを構築、活用し、取組を推進	推進
57	市民参加の生き物調査の推進 [重点アピール2]	推進	小学生対象アンケート調査、こども「いきいき」生き物調査を実施 約160校、12,000名超の児童参加	小学生対象アンケート調査、こども「いきいき」生き物調査を実施 約170校、12,000名超の児童参加	小学生対象アンケート調査、こども「いきいき」生き物調査を実施 約160校、10,000名超の児童参加	小学生対象アンケート調査、こども「いきいき」生き物調査を実施 延べ約490校、延べ35,000名超の児童参加	推進
58	生物生息状況モニタリング調査 [重点アピール2]	継続実施	・帷子川流域3か所における陸域生物調査を実施 ・1973年以来、14回目となる河川生物相調査の冬季調査を実施	・境川流域3か所における陸域生物調査を実施 ・1973年以来、14回目となる河川生物相調査の夏季調査を実施	・大岡川流域3か所における陸域生物調査を実施し、4年前に実施した同地域における調査結果との比較 ・横浜市内の海域10地点（河口・海岸域7地点、内湾域3地点）において秋季と冬季に生物調査を実施	陸域生物調査、水域生物調査等を継続実施	推進
<b>(2)地域特性に応じた保全等の検討</b>							
59	地域特性に応じた保全等の検討 [重点アピール5]	推進	産学民官連携による研究会において、生物多様性の評価手法について検討	産学民官連携による研究会において、生物多様性の評価手法について検討	産学民官連携による研究会において、生物多様性の評価手法について検討	産学民官連携による研究会において、生物多様性の評価手法について検討	推進

頁番号	取組名	目標	実績		3か年累計実績	3か年の進捗状況
			2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)		
<b>(3) 市役所による生物多様性の取組の推進</b>						
60	横浜市ISO環境マネジメントシステムへの反映	<p>区局統括本部ごとに環境行動目標を策定し、市職員が環境に配慮した行動を推進</p> <p>総合環境研修を実施し、市職員の環境意識の啓発を実施</p> <p>自己チェックおよびヒアリングによる内部監査を実施</p>	<p>区局統括本部ごとに環境行動目標を策定し、市職員が環境に配慮した行動を推進</p> <p>総合環境研修を実施し、市職員の環境意識の啓発を実施</p> <p>自己チェックおよびヒアリングによる内部監査を実施</p>	<p>区局統括本部ごとに環境行動目標を策定し、市職員が環境に配慮した行動を推進</p> <p>総合環境研修を実施し、市職員の環境意識の啓発を実施</p> <p>自己チェックおよびヒアリングによる内部監査を実施</p> <p>日常の事務事業活動における環境負荷の低減や、研修の実施を重点取組とした新たな横浜市環境マネジメントシステムを構築</p>	推進	推進
<b>■方針4 ～まちづくりと経済活動～</b>						
<b>(1) 生物多様性に貢献するまちづくりの推進</b>						
61	エキサイトよこはま2.2における環境取組の推進	(仮称) 横浜駅西口開発ビル計画において、まちづくりガイドラインを踏まえた環境配慮	まちづくりガイドラインを改定し、CO2排出原単位の見直しを実施	東口のエネルギー利用想定エリア内建物所有者にヒアリングを行うとともに事業予定者への参画意向確認を行うことで、対象想定エリアを絞り込み	推進	推進
62	みなとみらい2050プロジェクトの推進	選ばれる都市である「世界を魅了する最もスマートな環境未来都市」の実現を目指し、アクションプランを策定(3月)	環境未来都市・横浜にふさわしい取組について、みなとみらい21地区を中心に5つの公民連携プロジェクトチームにより推進	みなとみらい21地区を中心に5つの公民連携プロジェクトチームで推進	推進	推進
63	みなとみらい2.1中央地区の公共空間への緑化推進	みなとみらい3号線の緑化推進	みなとみらい4号線の緑化推進	みなとみらい4号線の緑化推進 横浜美術館の緑化推進	推進	推進
64	京浜臨海部の海づくり [重点アピール4]	京浜臨海部では人工干潟を設置し、生物多様性等に関する取組を展開	人工干潟の流出により、干潟の設置が困難であることが判明	モデル的に人工干潟を設置し、維持管理や台風時の波の影響等の課題を確認し、取組を完了	推進	推進
65	都心臨海部の海づくり [重点アピール4]	山下公園前海域で、生物による水質浄化能力の回復と向上の検討を民間企業との共同研究により実施	山下公園前海域で、浅場の造成などの環境整備を民間企業との共同研究により実施	山下公園前海域で、浅場の造成などの環境整備を民間企業との共同研究により実施	推進	推進

頁番号	取組名	目標	実績			3か年の進捗状況
			2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	
66	金沢区野島海岸周辺の海づくり [重点アピール4]	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>野島海岸で市民団体と連携したイベントを開催し、海域の生物による水質浄化のPR等を実施</li> <li>市民活動団体と協働した体験プログラムの実施 参加者数1,176人</li> <li>野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供 参加者数6,252人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野島海岸で市民団体と連携したイベントを後援、出展参加し、海域の生物による水質浄化のPR等を実施</li> <li>市民活動団体と協働した体験プログラムの実施 参加者数567人</li> <li>野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供 参加者数12,797人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野島海岸で市民団体と連携したイベントでの水質浄化のPR等を実施</li> <li>市民活動団体と協働した体験プログラムの実施 参加者数延べ2,166人</li> <li>野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供 参加者数延べ25,724人</li> </ul>	推進
67	金沢区白帆地区の海づくり [重点アピール4]	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>海の公園、ベイサイドマリナー付近海域での、アマモの播種、花枝採取、自然学習イベントの実施</li> <li>アマモ場の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アマモの播種、花枝採取、自然学習イベントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アマモの花枝採取、自然学習イベントの実施</li> </ul>	推進
68	横浜ブルーカーボン事業の推進	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋資源を活用した地球温暖化対策の調査・検討</li> <li>カーボン・オフセット、クレジットスキームを検討し、カーボン・オフセットの社会実装を実施</li> <li>事業の広報や、環境啓発イベントを開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋資源を活用した地球温暖化対策の調査・検討</li> <li>カーボン・オフセット、クレジットスキームを検討し、カーボン・オフセットの独自制度の運用を開始</li> <li>事業の広報や、環境啓発イベントを開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋資源を活用した地球温暖化対策の調査・検討</li> <li>カーボン・オフセット、クレジットスキームを検討し、カーボン・オフセットの独自制度の運用を開始</li> <li>事業の広報や、環境啓発イベントを開催</li> </ul>	推進
<b>(2)企業による社会参加の拡大と生物多様性に貢献する経済活動の支援</b>						
69	企業の環境行動の広報 [重点アピール1]	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨコハマ環境行動フェスタのステージイベントに企業等が参加し、行政と一緒に広報を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜環境活動賞受賞企業の取組についてパネル展示による広報を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜環境活動賞受賞企業の取組についてパネル展示による広報を実施</li> </ul>	推進
70	企業とのコミュニケーション	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業向け、生物多様性の取組を進めるためのパンフレットを市Webサイトに掲載</li> <li>横浜市民環境保全協議会、横浜商工会議所、国連WFP等と連携し、「こどもエコ活」大作戦！2014」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業向けセミナーに参加し、生物多様性の取組について講演</li> <li>横浜市民環境保全協議会、横浜商工会議所、国連WFP等と連携し、「こどもエコ活」大作戦！2015」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業向け、生物多様性の取組を進めるためのパンフレットを市Webサイトに掲載</li> <li>横浜市民環境保全協議会、横浜商工会議所、国連WFP等と連携し、「こどもエコ活」大作戦！2016」を実施</li> </ul>	推進
71	産学民官連携による共同研究	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>国連大学サステナビリティ/高等研究所と改定したヨコハマプランに関する情報提供・意見交換</li> <li>産学民官連携による研究会により、データバンクの構築や生物多様性の評価手法などについて検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学民官連携による研究会により、データバンクの構築や生物多様性の評価手法などについて検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学民官連携による研究会により、生物多様性の評価手法などについて検討</li> </ul>	推進
72	市民や企業等との連携 (地産地消の推進)	企業等との連携 50件 ※2014～2018年度まで	企業等との連携 5件	企業等との連携 8件	企業等との連携 12件	企業等との連携 25件 50%